



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年2月12日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahi-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 早河 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 齊藤 芳徳

TEL 03-6406-1115

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	254,392	6.9	23,189	76.8	31,157	58.7	27,397	42.2
	238,045	4.6	13,118	41.8	19,638	26.6	19,261	30.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 29,622百万円(△4.6%) 2025年3月期第3四半期 31,044百万円(45.5%)

	1株当たり四半期純利益 円 銭	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 円 銭	
		2026年3月期第3四半期	2025年3月期第3四半期
	271.74	—	—
	189.54	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %
2026年3月期第3四半期	576,520	467,221	80.6
2025年3月期	559,558	447,842	79.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 464,842百万円 2025年3月期 445,647百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末 円 銭	第2四半期末 円 銭	第3四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2026年3月期	—	30.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期 期末配当金40円00銭には、特別配当10円00銭が含まれております。

2026年3月期(予想) 期末配当金40円00銭には、特別配当10円00銭が含まれております。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高 百万円	%	営業利益 百万円	%	経常利益 百万円	%	親会社株主に帰属する当期純利益 百万円	%	1株当たり当期純利益 円 銭
通期	336,000	3.7	24,000	21.8	32,000	12.1	28,000	8.5	277.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

②①以外の会計方針の変更 : 無

③会計上の見積りの変更 : 無

④修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	108,529,000株	2025年3月期	108,529,000株
2026年3月期3Q	7,989,666株	2025年3月期	6,902,144株
2026年3月期3Q	100,819,187株	2025年3月期3Q	101,622,635株

②期末自己株式数

③期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P. 4「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は、2026年2月12日(木)にTDnetへの登録及び当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(表示方法の変更)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復しています。景気の先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される一方、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要です。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

このような経済環境のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,543億9千2百万円（前年同期比+6.9%）となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が2,312億2百万円（同+2.8%）となりました結果、営業利益は231億8千9百万円（同+76.8%）となりました。また、経常利益は311億5千7百万円（同+58.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は273億9千7百万円（同+42.2%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### ①テレビ放送事業

地上波の年間（2025年1月～12月）の個人全体視聴率において、全日帯（6時～24時）、ゴールデン帯（19時～22時）、プライム帯（19時～23時）の各時間帯で1位となり、2年連続の「3冠」を達成しました。また、年間の世帯視聴率においては、3年連続で「3冠」を達成しました。

タイム収入の基盤となるレギュラーパン組については、底堅い経済環境と好調な視聴率を背景に増収となりました。また単発番組については、「世界フィギュアスケート国別対抗戦2025」を始めとする各種大型スポーツ番組や年末特別番組のセールスが堅調に推移したこと、前年同期の「パリオリンピック」や「世界野球プレミア12」の反動による減収を最小限に留めることができました。以上の結果、タイム収入は610億2千6百万円（前年同期比+1.2%）となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期並みの中、視聴率が好調に推移したことなどから、大幅な増収となりました。業種別では、「情報・通信」「薬品・医療用品」「交通・レジャー」「外食・各種サービス」「出版」など、多くの業種で増収となりました。以上の結果、スポット収入は801億2千1百万円（同+17.8%）となりました。

また、B S・C S収入は194億4千6百万円（同△0.8%）、番組販売収入は99億6百万円（同△9.3%）、その他収入は164億9千9百万円（同+5.7%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は1,870億1百万円（同+7.2%）、営業費用は1,700億6千万円（同+1.4%）と前年の「パリオリンピック」や「世界野球プレミア12」の反動による番組制作費の減少などから小幅の増加にとどまった結果、営業利益は169億4千1百万円（同+152.8%）となりました。

#### ②インターネット事業

無料見逃し動画配信サービス「TVer」等における広告収入が好調に推移したことやKDDI株式会社との共同事業として動画配信サービスを提供している「TELASA」や他社動画配信プラットフォーム向けのコンテンツ販売が順調に増加したことなどにより、インターネット事業の売上高は259億3千万円（前年同期比+18.7%）、営業費用は222億3千7百万円（同+12.5%）となりました結果、営業利益は36億9千3百万円（同+77.8%）となりました。

#### ③ショッピング事業

通販番組における売上が低調に推移したことなどにより、ショッピング事業の売上高は139億8千6百万円（前年同期比△9.0%）、営業費用は131億9千2百万円（同△7.1%）となりました結果、営業利益は7億9千4百万円（同△32.6%）となりました。

#### ④その他事業

イベント事業は前年同期に開催した「The Performance」や「Yuzuru Hanyu ICE STORY 3rd『Echoes of Life』」の反動などにより減収となった一方、音楽出版事業は主に著作権収入が好調に推移したことにより増収となったほか、出資映画事業についても増収となりました。

以上により、その他事業の売上高は387億5百万円（前年同期比+3.5%）、営業費用は出資映画事業において映画制作原価が増加したことなどから369億1千2百万円（同+8.1%）となりました結果、営業利益は17億9千2百万円（同△44.7%）となりました。

報告セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%表示は対前年同期増減率)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	
テレビ放送事業	174,482	187,001	7.2%
インターネット事業	21,851	25,930	18.7%
ショッピング事業	15,374	13,986	△9.0%
その他事業	37,381	38,705	3.5%
調整額	△11,044	△11,231	—
合計	238,045	254,392	6.9%

(単位：百万円、%表示は対前年同期増減率)

	セグメント利益		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	
テレビ放送事業	6,701	16,941	152.8%
インターネット事業	2,077	3,693	77.8%
ショッピング事業	1,177	794	△32.6%
その他事業	3,240	1,792	△44.7%
調整額	△78	△31	—
合計	13,118	23,189	76.8%

#### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比169億6千1百万円増の5,765億2千万円となりました。これは、現金及び預金が219億5千6百万円減少したものの、有価証券が270億1千6百万円、投資有価証券が89億1千2百万円、棚卸資産が30億9千7百万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比24億1千6百万円減の1,092億9千9百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が22億3百万円増加したものの、未払法人税等などの減少により流動負債の「その他」が59億9千3百万円減少したことなどによります。また、純資産合計は、前連結会計年度末比193億7千8百万円増の4,672億2千1百万円となりました。これは、自己株式が28億7千9百万円増加したものの、利益剰余金が200億9百万円、その他有価証券評価差額金が20億6千9百万円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は80.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年11月11日に公表いたしました数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,766	15,809
受取手形及び売掛金	90,632	92,504
有価証券	25,981	52,998
棚卸資産	10,047	13,145
その他	12,602	11,698
貸倒引当金	△87	△85
流動資産合計	176,941	186,070
固定資産		
有形固定資産		
土地	64,763	64,746
その他（純額）	82,380	81,469
有形固定資産合計	147,143	146,216
無形固定資産		
その他	4,391	3,786
無形固定資産合計	4,391	3,786
投資その他の資産		
投資有価証券	209,180	218,093
その他	22,128	22,580
貸倒引当金	△227	△227
投資その他の資産合計	231,081	240,446
固定資産合計	382,616	390,449
資産合計	559,558	576,520
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,082	12,285
その他	72,775	66,782
流動負債合計	82,858	79,067
固定負債		
退職給付に係る負債	9,925	9,879
その他	18,932	20,351
固定負債合計	28,857	30,231
負債合計	111,715	109,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,710	36,721
資本剰余金	70,505	70,516
利益剰余金	304,032	324,042
自己株式	△13,579	△16,458
株主資本合計	397,669	414,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,004	44,073
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	2,147	2,087
退職給付に係る調整累計額	3,826	3,858
その他の包括利益累計額合計	47,978	50,020
非支配株主持分	2,194	2,378
純資産合計	447,842	467,221
負債純資産合計	559,558	576,520

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	238,045	254,392
売上原価	173,140	174,165
売上総利益	64,905	80,226
販売費及び一般管理費	51,786	57,036
営業利益	13,118	23,189
営業外収益		
受取配当金	1,312	1,387
持分法による投資利益	4,803	6,198
その他	485	544
営業外収益合計	6,601	8,130
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	66
固定資産廃棄損	57	64
その他	23	31
営業外費用合計	81	162
経常利益	19,638	31,157
特別利益		
投資有価証券売却益	8,005	7,001
持分変動利益	—	162
特別利益合計	8,005	7,164
税金等調整前四半期純利益	27,643	38,321
法人税等	8,110	10,741
四半期純利益	19,533	27,579
非支配株主に帰属する四半期純利益	272	182
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,261	27,397

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	19,533	27,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,841	1,754
繰延ヘッジ損益	24	—
為替換算調整勘定	6	△64
退職給付に係る調整額	65	57
持分法適用会社に対する持分相当額	1,572	295
その他の包括利益合計	11,510	2,043
四半期包括利益	31,044	29,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,771	29,439
非支配株主に係る四半期包括利益	272	183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(表示方法の変更)

ショッピング事業を担う当社の連結子会社である(株)ロッピングライフ及び(株)イッティが、2025年7月1日付で(株)ロッピングライフを吸収合併存続会社とする合併を行っております。

合併に伴い損益管理区分を見直し、従来「売上原価」に計上していた費用の一部を、「販売費及び一般管理費」として取り扱い、表示区分を変更しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」に表示していた2,960百万円を「販売費及び一般管理費」に組み替えております。

営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	172,025	20,303	15,360	30,356	238,045	—	238,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,457	1,548	13	7,025	11,044	△11,044	—
計	174,482	21,851	15,374	37,381	249,090	△11,044	238,045
セグメント利益	6,701	2,077	1,177	3,240	13,197	△78	13,118

(注) 1 セグメント利益の調整額△78百万円は、セグメント間取引消去△85百万円、当社における子会社からの収入1,555百万円及び全社費用△1,549百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	184,471	24,378	13,962	31,579	254,392	—	254,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,529	1,551	23	7,125	11,231	△11,231	—
計	187,001	25,930	13,986	38,705	265,623	△11,231	254,392
セグメント利益	16,941	3,693	794	1,792	23,221	△31	23,189

(注) 1 セグメント利益の調整額△31百万円は、セグメント間取引消去△71百万円、当社における子会社からの収入1,593百万円及び全社費用△1,552百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	7,166百万円	6,664百万円

(重要な後発事象)

(セグメントの変更について)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、2026年度から2029年度までを対象とする経営計画「START UP テレ朝!! 経営計画2026-2029」を決議いたしました。

当該経営計画を踏まえ、翌連結会計年度より従来の報告セグメントである「テレビ放送事業」「インターネット事業」「ショッピング事業」「その他事業」から「メディア・コンテンツ事業」「TDP・イベント事業」「その他事業」に変更いたします。

「テレビ放送事業」「インターネット事業」「ショッピング事業」及び「その他事業」に含まれていた「出資映画事業」などを「メディア・コンテンツ事業」に集約し、「その他事業」に含まれていた「音楽出版事業」「イベント事業」などに2026年3月開業予定の東京ドリームパークに関連する事業を加え「TDP・イベント事業」といたします。

なお、変更後の報告セグメントの区分によった場合の当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報は現在算定中であります。